

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	秦皇山施設管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3260	所属長名	宮崎栄司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	入船淳	
法令根拠等	伊予市秦皇山休養施設条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 賑わいのある観光の振興					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	賑わいのある観光振興のため、施設利用者の増加を図る。						
事業の対象	一般利用者 (余暇・観光・自然志向者)			事業の目的	秦皇山森林公園の持つ豊かな自然、美しい360° パノラマ風景を活かし、滞在型レクリエーション施設整備、管理運営により都市住民と地域住民との交流に寄与する。		
事業の内容 (整備内容)	休養センター・ログハウス・キャンプサイト及びレクリエーション施設並びに森林公園の管理運営			昨年度の課題に対する具体的な改善策	休養センターについて、消防署から指摘のあった防災素材でないカーテン、じゅうたんについては、撤去したものの、大きな修繕は行わなかった。また、当センター過去5年間の利用状況を精査した。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	4,379	4,323	0	0	0	3,975	ログハウス等利用者	人	1860	2000	903	1025
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0			0			
一般財源	4,379	4,323	0	0	0	3,975						
職員の人工 (にんく) 数	0.02	0.06				0.06						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982			0			
※ 直接事業費+人件費	4,539	4,802				4,454						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					4,257	4,500	4,500	4,500	4,500	22,257		
成果指標	指標	施設使用料金を納付した利用客数			単位	人	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度
	指標設定の考え方	施設の利用者は、施設使用料金を納付した施設利用者と秦皇山への入込み客数とに区分されるが、行政評価では、施設利用料金を納付した施設利用者数を設定。					⇒	目標	2000	2000	2000	
	指標で表せない効果											
							実績	1860	1025			

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		利用客層は県外や県内遠隔地からも相当数いるため、利用者の利便性向上を目的に、施設までの道順案内や施設紹介など、パンフレット及びホームページによる宣伝を充実させ利用率の向上に努める必要がある。また、経年劣化によりログハウスやテントサイトなど施設設備の老朽化も見受けられる。施設の不備・老朽化は利用率に直結するため、定期的な修繕・更新が必要である。								
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	受付業務について、電話での申し込みの後、はがきでの使用申請をしてもらっていたが、利用当日、管理棟で申請するよう変更し、事務の簡素化を図った。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。	3					
	効率性	手段の最適性	最善な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3	合計点が	B				
			活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3	5~7 : C 3~4 : D						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	B	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 利用客数は対前年比55%程度に落ち込んだが、要因は繁忙期の土日に台風が多かったことや7月上旬の西日本豪雨の復興作業などが影響したと思われる。依然、アウトドア志向は根強いものがあり、交流人口の拡大による地域の活性化のため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
市の関与の妥当性			5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。	3						
効率性	手段の最適性	最善な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3	合計点が	B					
		活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3	5~7 : C 3~4 : D							
所属長の課題認識	所属長の課題認識	ログハウスやバーベキューハウス、テントサイト周辺園内道路は一部未舗装で、幅員狭小、路面段差も大きく、特に車両底部の損傷を生じることがある。利用客の意向も踏まえ、管理人による利用客車両の適切な誘導が必要である。								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 老朽化の著しいRC2階建ての宿泊棟について、過去の利用状況も調査のうえ、修繕・改築・解体の方策を検討することとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		